

## 第六期 第二十八回 np.広告学校 講義録

### 【小霜クラス いじめ防止ポスター】②

(注・受講生の表現案に使用されている画像は基本的にネット上のフリーのものや自分たちで撮影したのですが、もし肖像権などで問題あるものがございましたら [contact@noproblem.co.jp](mailto:contact@noproblem.co.jp) までご連絡ください。)

#### ◆日時

2014年2月3日

#### ◆出席者

で?、コゲ太、食い丸、おにぎり、ピロリ、

小学生、世界の野糞、安倍さん、垢プリ、センター、ホへ～

生徒15名(女性5名男性6名)

+小霜・付き人(np.)・インターン

小霜：この間2チームに分けて、さらにその2チームが2チームに分かれて4チームになったんだよね。4チームのストラテジー案と表現案を発表してもらおうということでもいいんだよね。えっと、じゃあ発表の順番を決めて。

世界の野糞：リーダーって決まってるんだっけ？

安倍さん：僕の班はまだ実物が届いていなくて…

小霜：どれくらい遅れてくるの？

世界の野糞：15分くらい…

食い丸：私の班もいまメンバーが私しかいなくて、ひとり、垢プリさんが今タクシーで向かっています。少し遅らせてもらえますか？

小霜：どれくらいで来るだろうか。

世界の野糞：タクシーで今向かってるってことは30分くらいかな。

小霜：じゃあ遅れてくる人が来るまでまったく関係ない話でいきましょうか。

まず…都知事選どう思う？いや…この人に入れるべきだとかそういう結論を知る必要はまったくなくて。みんながどう思っているかなと思って。

**安倍さん**：なんかあの一番有力だと言われているのが、70歳の人と次が66歳の人だという人がいて、今回あの、家入一真さんというすごい若い人がいるじゃないですか。その人はたぶん当選しないと思うんですけど、あの、でもなんか今までの選挙と違って若者の投票が増えるんじゃないかって。

**小霜**：うん、他には？

**ピロリ**：自分もたまたま渋谷を通して、宇都宮健児さんの演説を見て、友達がそこでなにかをやっていたので気になって。舛添さんもいたんですけど、人の集まりがすごい薄かったっていう。で、意外だなと思いました。

**センター**：僕は住民票が実家の方で選挙ができないんですけど、さっきの安倍さんが言った、家入さんが出るっていうのを知ってけっこう、投票しなきゃと思って、住民票がなくても投票できる制度があったら申し込もうと思いました、結果無かったんですけど。

**小霜**：次は？

**世界の野糞**：今回票が割れる気がして。今までは、この人に入れておけば安心かなというのがあって、あまり考えなくても投票しやすかった気がするんだけど、今回はそれぞれちゃんと見ないとまったくわからないような感じだなと思いました。

**小霜**：次は？

**おにぎり**：なんかインターネットを使って政治のことをするようになって、誰がどの人を支持してるのかをなんかみんなが書き込むようになって、今まで見えなかったものが見えるようになって、なんか妙な空気だなと思いました。なんか、良いこともあるし悪いこともあるのかなと思いました。

**小霜**：いま、「なんか」って5回くらい言ったよね？自分の意見を言うときに、なんだか分からないんだけど、とかそういうのじゃなくて、説明する時に「なんか」って言うのあんまりよくないよ。いや、なんか、おれもなんかって言っちゃったけど…若いやつに企画をさせると、なんかサラリーマンが、なんかお酒を飲んでいて…とか言うんだよね。それはたぶんディテールが自分のなかにできていないのを甘えてるんじゃないかな。わかるでしょ、わかるでしょ、って。それはあんまりよくないよ。他には？

**ホヘー**：俺あんまり考えたことなかったんですよ、政治の事。今回もあんまり考えていなかったんですけど、昨日たまたま渋谷に行ったときに自分の好きなラッパーが政治の応援をやっていて、お祭りっぽくて楽しい空気は

出来ていたんですけど、それでもまだ政治ってよくわからないなっていうのが強くて。こういう時にあんまり話すことができないのを今反省中ですね。

小霜：そういえば君、博報堂の何か賞獲ったよね。

ホヘー：あ、はい。

小霜：なんで言わないの？

ホヘー：いや、ちょっと…そうですね…優勝させてもらいました。言ってもいいですか？博報堂ブランドデザインっていうブランディングの会社主催のブランドデザインコンテストっていうコンテストで、僕と、同じ np. 学校出身のロリ子と、もう一人僕の sfc の友達と 3 人で出て、4 か月に渡る長いコンテストで優勝と、参加者が投票するオーディエンス賞を 2 ついただくことができました。ありがとうございます。結構予選で落とされて、最後の方とかすごいプレゼンが上手い人ばかりいたりして、僕たちはプレゼンが上手いわけではなく、ただただ素直に行こうってことでチーム名も“素直に”で、プレゼンを聴いている方々も、上手い人はいるけどよかったのは君たちのところだった。っていうありがたい言葉をいただいたりして…すごいありがたかったです。むずかしいけど悩む分楽しいなって感じました。

小霜：僕の質問は、なぜ教えてくれなかったのっていうこと。

ホヘー：あー。え、なんでなんだろう。

小霜：いや、ロリ子に聞いて、審査員の知り合いの編集者がフェイスブックに載せていて。で、ああこれのことかって繋がったのね。で、ロリ子は報告しにきてくれたんだけど、なぜ君は教えてくれないの？

ホヘー：うん..そうですね。いち早く報告すれば…。

小霜：その心理を知りたいわけ。

ホヘー：ロリ子とふたりで、広告学校行ってよかったねって話をしたんですけど…

小霜：今はじゃあいいや。話を戻そう。都知事選の話ね。なんか他に感じるものとかがあった人いる？

小学生：僕はその…家入さんが出るっていうので、フェイスブックとかなんか家入さんのファンみたいな人がいて、なんか一緒に選挙活動とかしている人がいて、フェイスブックに上がってくるんで自分の目に入る頻度が多くて。僕は今まで高齢者が政治をやっているということが疑問だったので、いい傾向だなと思いつつ、結構

新しい人なんで、家入さんは。経営者としてすごい若いから、新しいものを見かたをする人だから、そういう人が出ることによって世の中にとっていいことになるんじゃないかなって。

小霜：あの人っていまいくつ？20代なんだっけ？

世界の野糞：30半ばくらい？

センター：31、2くらいだと…

世界の野糞：1978年。

小霜：っていうことは、35？そんなに若くもないよね。いや…歳いったひとが政治をするのは意味があることだという気がして、政治ってバランスとかだと思っただよね、こっちを立てればあっちが立たずってことになるじゃん。だから…調整だと思ってるんだよね。こっちも立ってあっちも立つみたいなの…調整できる人。じゃないと…だから経験値が低い人だと難しそうだなっていう気がするんだよね。若い人に知事とか任せて、っていうと…。たぶんそういうことを、理屈じゃないところでみんな嗅ぎ取っているから。若い人に渡すっていうことに慎重になっちゃうんじゃないかな。

いや、ネットでね、誰かが今回の都知事選はマズい定食屋に入った感じだと言っていて、上手いこと言うなあって思ったんだよね。どれ選んでもマズそうっていう…これ食ってりゃ安心っていうのがないよね。まあ、舛添さんが圧勝ってことになってるよね…。一応都政のことを一番勉強しているのは舛添さんなんだよね。細川さんは討論全部拒否で、脱原発以外のことは何も言っていないという状況で。どうするのかな…。僕はでも、この人に投票しようという事は決めたんだけど、それは今は言わないということで。じゃあ、行こうか。大丈夫？じゃあ各チーム。

世界の野糞：じゃあ各チームじゃんけんを

センター：勝った人が決められる感じ？

世界の野糞：いいんじゃないシンプルに買った順で。

センター：マジか、じゃあ…

(じゃんけん)

(順番 安倍さんチーム→センターチーム→ホヘーチーム→食い丸チーム)

【安倍さんチームプレゼン】

ストラテジー.txt

- ①SNSいじめに特化したポスター(LINEやTwitterなど)←時代性がある、このいじめが増えてきているため
- ②いじめの具体例  
twitterや掲示板での陰口、LINEの既読スルーやグループを退会させるなどの行為
- ③ストラテジー  
ターゲット：いじめっ子  
インサイト：小霜さんのいじめっ子のインサイト仮説(いじめを認識していない、ただの悪ふざけだと思ってる)  
プロポジション：スマホの向こうの人の気持ちを考えたことありますか？
- ④CR案方向性
  - ・自分ってこんなひどいことやってるんだって、ターゲットに分からせて、ひやっとさせるような
  - ・何気ない行動がいじめられっ子を追いつめている感じ

見ることはできない。  
つぶやきや、写真や、つながりの、  
その先の表情を。



想像しよう。  
押す前に。

\*コピーは無関係

その先にある表情を、想像しよう。



東京都教育委員会  
Tokyo Board of Education

小学生：えっと、ターゲットは、まず、

世界の野糞：小霜さんに向けた方が良いよ。クライアントだから。

小学生：あ、はい。えっとまず、このストラテジーの糸口は前回小霜さんがおっしゃった、いじめをいじめだと認識していないただの悪ふざけだということから考えていて、こういうインサイトにすごく当てはまるのは、最近LINEとかTwitterとか流行っていて、ネットでのいじめが殺人事件とかなんか暴力沙汰とかになっていて、まあそこはけっこう自分たちの世代とは違う部分なので難しいとは思いますが。なんていうかその、このインサイトがあってこういう事件が起きているんじゃないかなって思って。

SNSのいじめに特化したポスターを作ろうとしました。SNSでのいじめの具体例なんですけど、陰口とか既読スルーっていう、LINEで既読にして返信をしないというのがけっこうショックみたいで。特定の人にだけ既読にして返信をしないっていう。あとは強制的にグループを追い出すっていう。実際そういうの

が原因で学校に行けなくなっちゃう子もいたりして。

インサイトが、いじめを認識していない、ただの悪ふざけだと思っている、プロポジションが、スマホの向こう側の人の気持ちを考えたことはありますか。考えてみましょうっていうことで。まあ、クリエイティブの方向性として、いじめっちはこんなひどいことをしているんだという事を気付かせて、そしたら行動を変えられるんじゃないかなって。何気ない行動が追いつめている感じ。一応まあストラテジーを考える段階ではこういう話し合いをしました。

**安倍さん**：趣旨としてはあの、つぶやきとか facebook に写真を投げたりメッセージを送るっていう行動はすごく簡単になっていて。メッセージの送信は話すよりも簡単で。

**小霜**：え、わかんない。どれが表現なの？

**安倍さん**：一応これ1枚（左）が・・・なのであの、相手はメッセージを受け取った時にどういう顔になってどういう気持ちになるんだろうっていうことを想像してみましょうっていうプロポジションです。その上で、っていうことです。

**安倍さん**：こっちはちょっと僕はハートマークの意味とか分からなかったんで（左案）、具体的に行動を、「うざいから死ねよ」って送ろうとしているところなんですけど（右案）。実際こういうことをしようとしている人たちに自分だと思ってもらいたくてこのビジュアルで。

**小霜**：なんか言ってることがわからないんだよね。ハートマークは気に入ってないんでって言うけどそこにあるじゃんハートマーク。

**安倍さん**：いやなんか、連絡が飛び飛びになっていて、。。

**小霜**：これが最終形で2案なんだよね。じゃあこれは置いておいて次のチーム。

【センターチームプレゼン】

## いじめ防止ポスター ストラテジー

### ターゲット:

いじめている自覚はなく、いじってまわりを楽しませようとしている男子中高生。

### インサイト:

モテたい。(だから、まわりから注目されたい)

### 獲得したいゴール:

人をいじっていると、「なにがなんでもモテたい」ってコトをまわりに知らせちゃうことになるんだ。それって必死感が漂ってダサいし、なによりモテなさそうだ。

### プロポジション:

「人をいじる」ことは、「なにがなんでもモテたい」ということを、周りにアピールしているようなものです。



**センター**：これがストラテジーです。ターゲットが、いじめをしている自覚はなくにいじって周りを楽しませようとしている男子中学生。

これに至った経緯を説明すると、最初にいじめっこいじめられっこどちらをターゲットにするか迷ったんですけど、いじめられっこをターゲットにしても、いじめが起こっている原因を消すことが出来ないのので、いじめっこにしました。そこから考えたときに、男子がしているいじめと女子がしているいじめだと性質が違うよねと。

男子は、オーディエンス、教室内の生徒に向かってその人たちを楽しませるために、いじって、それがエスカレートしていじめになっていくことが多いのではないかな。

女子は、観客は関係なく、ただグループ内の団結を固めるとかある1人を消すために、ということが多いのではないかな、と結論が出ました。

ポスターで効果を出すために、ターゲットは教室中を巻き込んでいる男子のいじめっこにしました。男子のなかでも、いじめを自覚している人と、自覚していない人と、あと傍観者の3種類になると思うんですけど、既に自覚している人と傍観者はポスターでは効かないと思ったので、いじめだと思っていないけれどいじりしている人をターゲットにしました。インサイトは、まずいじりたい、ある特定の人をいじるのは周りを楽しませたいから。で、それを突きつめていくと周りからモテたい、注目されたいということになると思いました。で、そのインサイトに対して、人の事を執拗にいじるということは何がなんでもモテたいということ周りに知らせることになる。それは必死感があるしモテないよという事を伝えたいと思いました。で、プロポジションが、人をいじることは何が何でもモテたいということ周りにアピールしているぞ、ということです。で、グラフィックがこちらです。パッと見て意味が分からない方も多いんじゃないかなと思うんですけど、教室や学校にずっとこれが貼られていることを想定すると、いじめてい

る側も自分の心の奥底を見透かされるような気持ちになるかと。

いじめられている側も、なんで自分がいじめられているかよく分からないことが一番つらいんじゃないかと。こう、ちょっとでもいじっている側はこういうことを思っているのか分かるのがいいんじゃないかと思いました。

順番前後しちゃったんですけどもう一ついいですか。モテたいというのを止めるには、いじめをやめる事でのメリットかいじめを続けていることのデメリットどちらかを伝えるべきだと思ったんですけど、メリットのほうはちょっときれいごとを言っている感じになってしまったので、続けていることによるデメリットを作ろうと意識しました。

小霜：はい。じゃあ次のチーム。

### 【ホヘーチームプレゼン】

ピロリ、花火、付き人、ホヘー

ターゲット

いじめっ子

インサイト

自分がやっていることは、  
ニュースになるようなイジメほど、  
ひどいことではないと思っている。

プロポジション

どんなひどいイジメも、  
ささいなことから始まっている。

殺したくて  
始めたわけじゃなかった。



いじめ。今やめるか、加害者になるか。  
東京都教育委員会

ホヘー：僕たちは、ターゲットはいじめられっこではなくていじめっこにしています。これはさっきセンターも言っていたんですけど、いじめをなくすのにいじめられっこにアクションを起こしてもらうよりも、いじめっこがいじめをやめることができればより数が減るんじゃないかと思ってターゲットはいじめっこにしています。ターゲットのインサイトとして、前回小霜さんもおっしゃっていた、いじめではなくいじりであると思っているというのではなく、自分たちがやっている事はいじめだと分かっているけれど、テレビでやっているよ



うないじめとは質が違うと思っていて、そこまでひどい事をしていると思っていないという仮説があります。インサイトは自分たちがやっていることはテレビでニュースになっていることほど酷いことではないと思っているという物を考えました。それに対してプロポジションが、どんなひどいじめも些細な事から始まっているというものです。いじめが最悪のケースに発展する前に止めるんじゃないかと。

で、表現としてちょっと前のチームとかぶっているんですけど僕たちもビジュアルですごいどうしようと考えたときに、ニュースになっているいじめを連想させるために自殺をしようとしている人を出そうかと考えたりもしたんですけど、明らかにいじめ防止のポスターのようなものだと、学校に貼られていると学生たちはちょっと見たくないんじゃないかと思って。

普段見慣れていていじめだと思わないようなLINEのビジュアルにしました。で、キャッチコピーは、殺したくて始めたわけじゃなかった。で、LINEの内容はちょっと学校で寝ているやつをからかうために消しゴムとか投げてそこから仲間内でもっとやっちゃえとか言っている内容があり、これが続いていくとこの子が死んじゃうかもしれないという事を連想させるようにしました。補足があればお願いします。以上です。

小霜：じゃあ次。

### 【食い丸チームプレゼン】

東京都教育委員会 / いじめ防止ポスター ストラテジー

ネチ・ネチ部、未満、シカシカ、食い丸、垢ブリ

いじめている側は、自分たちの行為を「いじめ」と認識しない。それは、「いじめ」だと認めたくないからである。

『そこまでひどいことはしていない。いじっているだけのつもりだった。』  
そう言い訳をして、自分たち自身を守りたいのだ。

しかし、その行為を「いじめ」と感じるのは、被害者に他ならない。いじめかどうかは、やられているほうが決めることだと思う。

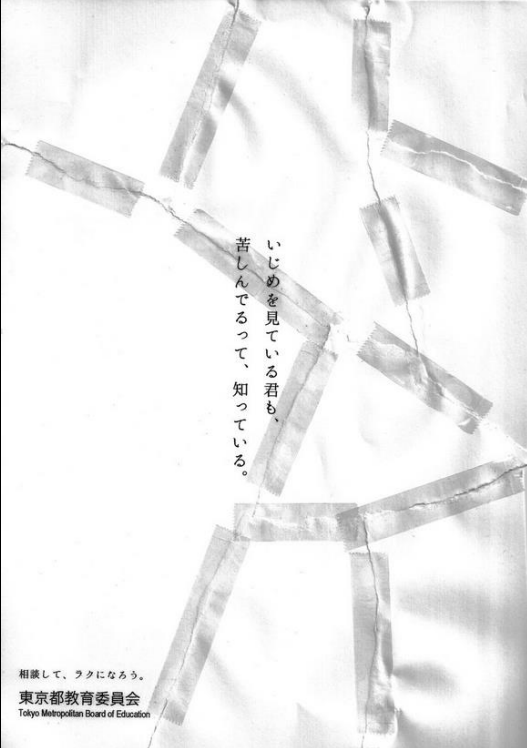
「いじめ」から目を背けている中高生(加害者側)に、普段当たり前に行っているシーン(=いじめ)を客観視させることで、「いじめをしているかも」と思わせることが大切だと考える。



垢ブリ：2案提案させていただきます。一つ目です。いじめているグループへのメッセージです。いじめている側がいじめていることを認識していません。いじめているとは思っていないし、いじっているだけだと思っている。その行為をいじめかどうか決めるのは被害者であって、やられている方が決めるべきだと思います。普段当たり前のようにしているシーンを、いじめだと思わせることができれば成功だと思ってひとつ作りました。かぶっちゃうんですけどこれはいじめられている側の携帯で、いじめなのかいじりなのかふざけながら

言っていて、いじめられている側はスタンプを押しているっていう。これは表現制作が途中だったんですけど

食い丸：えっと、画面の上に涙が落ちているイメージです。

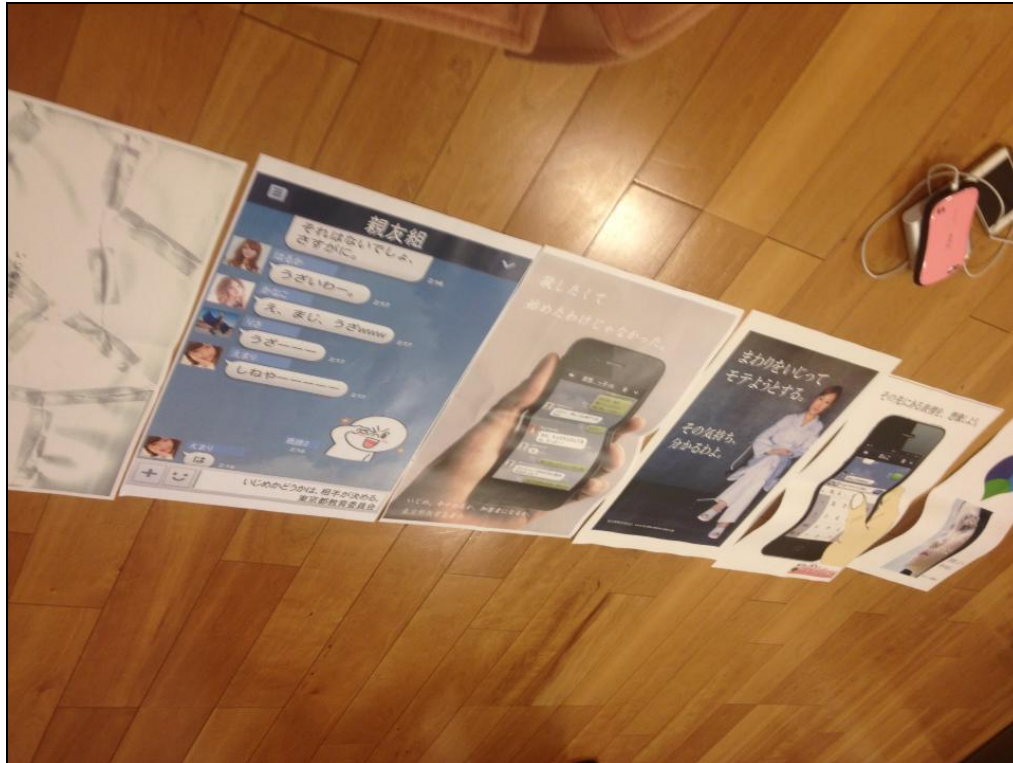
東京都教育委員会／いじめ防止ポスター ストラテジー	ネチ・ネチ部、未満、シカシカ、食い丸、垢ブリ
<b>ターゲット</b> 仲間はずれを恐れ、いじめに同調してしまっている生徒	 <p>いじめを見ている君も、 苦しんでるって、知っている。</p> <p>相談して、ラクになろう。 東京都教育委員会 Tokyo Metropolitan Board of Education</p>
<b>インサイト</b> 過剰ないじりで苦しんでいる友達を見て感じる罪悪感が嫌だ。	
<b>プロポジション</b> 無理にいじめに同調して苦しむのは、もうやめませんか？	

垢ブリ：もう一つが、仲間外れを恐れていじめに同調している生徒へ、インサイトは過剰ないじりで苦しんでいる人を見て、やりすぎだと思いながらも止められなかったりする自分へ罪悪感を感じているような。プロポジションとしては、いじめている側に相談をしてもらおうということをゴールにしています。いじめを見ている君も苦しんでいるって知っている。色々きれいなポスターが貼られていると思うんですけど、こういう、破れて心が引き裂かれているというグラフィックにしました。以上です。

小霜：これは背景は何なの？

垢ブリ：背景は紙が破れている・・・それをセロハンテープで止めて・・・ちょっとコントラストが強すぎてよくわからないんですけど・・・。

小霜：じゃあ今の表現案を並べてみて。それでうちの息子呼んできて。横に並べて。



付き人：ちょっと寝ちゃってるみたいです。

小霜：じゃあ女房で。

小霜の奥さん：すみません…

小霜：いやあのな、中学校とか高校の学校の教室にポスターが貼られてますと。その案が並んでいるんだけど母親目線、このポスターが貼ってあったらいじめなくなるかなあってというのがこの中にある？

小霜の奥さん：いじめ防止だよな？うーん…ごめんね私の客観的なあれだと、これかな(垢プリチームB案)

小霜：ああこれ？これだったら読む？

小霜の奥さん：読むっていうか、ん？って見返すかな。

小霜：いじめっ子に対してのセリフというか、周りで見てる子に対してのセリフだよな。

小霜の奥さん：うーん。でももしかしたら携帯の絵とかが入ってた方が子供たちは目が行くのかもかもしれないね。おばちゃん目線かもしれないねもしかしたら。

小霜：娘がいればよかったんだけどね。

小霜：いや、スマホのものが多くなって思ったわけ。で、スマホだったら微妙に違うんだけどどれがいいと思う？

小霜の奥さん：効きそうか？

小霜：いやLINEとかでさ、返信しないとかわざとハブにするとかあるじゃない。そういうのを止めるっていうのが狙いなんだけどね。

小霜の奥さん：うーん。どうかな。どうだろう、あんまり自分ごとにならないかも。

小霜：スマホが出てても？

小霜の奥さん：そうそう、子供たちはさあ、当たり前じゃん、このスマホが出てるのが。まあ、私から見ても帰ってきてからずっとLINEで話をしてるし感覚的に日常的な絵じゃない。もう朝起きて顔洗うとかと同じ感覚だから、あれって見るよなって思ったんだけど。目を引くには絵としていいのかなって。で、見てなんて書いてあるのかなって読むかなって。

小霜：見て、効きそうかな。

小霜の奥さん：内容としては、うん。やっぱり言葉がきついから気になるのかも。いいとか悪いとかじゃなくて私たちの世代からしたら「殺す」というのは斬新かなあ。でもこれ絵のクオリティじゃないよね？

小霜：うん、ラブだから。その先にある表情を想像しようとかって中学生に効くんだろうか。

小霜の奥さん：ちょっと自分ごとにならないような気がするなんか。

小霜：よくわかんないなって感じかな。

小霜の奥さん：うーん、大人っぽいからね。

小霜：刺さらんってことかな。

小霜の奥さん：刺さらない…あんまり考えないよねきっと。スマホと言葉がイコールになっていない気がする。

小霜：そんな感じかな？はいサンキュー。

一同：ありがとうございました。

小霜：えっと、僕が感じたことをまず言うと、最初に、なんで表現案を折るの？折らないで持ってきたのって2番目のチームだけだった。僕らさ、そんな紙にプリントしたコピー一行とかラフとかで、100万200万請求する商売なんだよね。そんなさ、折ってはいって渡すのはどうかしている感じがする。だってアーティストが絵画描いてさ、折って持ってこないでしょ。これ買いますって言ったらそのまま梱包して持ってくるでしょ。折って持ってきたら激怒でしょ。やっぱりおかしいと思う。ちゃんとA3で折れないようなものに入れるとかあるいは巻くとかね。もう、作りながらね、作った端からどうでもいいって思ってるよね。これいいのできたって思ったら折らないよね。自分たちで作ったものを自分たちで傷つけているように見える。たぶん気に入っていないんだよ、自分たちが作ったものを、そんなに。2番目のチームはたぶんけっこうデザインとかも考えて、なんかこれ綺麗なの出来たと思って折らないで持ってきたと思うんだよね。内容が良いか悪いかは別として。で、ちょっと最初のチームからストラテジー案をもう一回見せてくれない。

ストラテジー.txt

- ①SNSいじめに特化したポスター(LINEやTwitterなど)←時代性がある、このいじめが増えてきているため
- ②いじめの具体例  
twitterや掲示板での陰口、LINEの既読スルーやグループを退会させるなどの行為
- ③ストラテジー  
ターゲット：いじめっ子  
インサイト：小霜さんのいじめっ子のインサイト仮説(いじめを認識していない、ただの悪ふざけだと思ってる)  
プロポジション：スマホの向こうの人の気持ちを考えたことありますか？
- ④CR案方向性  
・自分ってこんなひどいことやってるんだって、ターゲットに分らせて、ひやっとさせるような  
・何気ない行動がいじめられっ子を追い詰めている感じ

見ることはできない。  
つぶやきや、写真や、つながりの、  
その先の表情を。



想像しよう。  
押す前に。

※コピーは無関係

その先にある表情を、想像しよう。



東京都教育委員会  
Tokyo Metropolitan Board of Education

解決策に見えない。

まずね。スマホの向こうの人の表情を考えたことがありますかってあるけど、これが解決策に見えないわけ

よ。スマホの向こうの表情を考えられないんだよねっていう問題認識ってどうなんだろう。

結構ね、直接会って話したり電話で話したりしていると、人っておだやかに会話をするんだけど、こうやってLINEだったりメールだったり、文字でやると、けっこう残酷になってしまったりってあるよね。そういう意味でいうと、やっぱりその、表情がわからないかもっていうのはそうかもなって思う。だからスタンプみたいに、表情が大きく出るということでLINEが流行ったのではと思うんだよね。まあtwitterとかっていうのは表情は顔文字というか、そのくらいのものでしかできないけれど。LINEは表情が大きく出からね、表情をもっと出そうという風な世の中の要請があってLINEが流行ったのかなという気がするんだけど。まあでもそのLINEでも、無視したりハブにしたりということがあったりしていじめの温床になってしまっているということもあるわけだね。それをじゃあ、どう解決するか？という。

じゃあこうしようっていうものが、このストラテジーにはないと思うわけよ。

想像できない。というところに、想像しよう。と言っても解決にならない。

じゃあどうやって？感じられないという前提で、何すればいいの？どういう行動させればいいの？だって、想像しようって言うても、想像できないって言うているわけだね。できないのに想像しようって言うても解決にならないよね。いじめをやめようって言うてもいじめはおさまらないわけでしょ。表情を想像しようって言うても、想像できないんだと思うんだよね。スマホを見るとね、自分ごとだと思えるかもしれないけれど、表情を想像しようって言われても、なんだかわからないんじゃないかな。子供にとってピンと来ないんじゃないかな。

クリエイティブを考える事は、どこまで深く考えるかのチキンレースのようなもの。これはチキン。

考えるの大変だ、っていうところで、サボったんだと思う。クリエイティブって、汚れ仕事なんだと思うんだよ。ドブ掃除とかと同じで、嫌なことなのよ、実は。だって、しんどいことだもん。考えることって。だって、僕の元博報堂の仲間フリーの人たち結構神経病んでるよ。病院に行ったり。考え過ぎるとやっぱりおかしくなってくるよ。僕はそこまでは考えたくないんだけど、やっぱりしんどいことなんだよ。人間、答えがなかったらしんどくなっちゃう。地震が起きる原因はなにかって考えたときに、でかいナマズがいるんじゃないかって答えを無理やりもってきたりする。雷はなんだって考えたときに、いや、雲の上で太鼓たたいてるんじゃないかとか。いや、そうでしょ。でも、本当にそうかなって疑うやつがいたりして、電気っていうものがあるのがわかってきたり。考えるのはしんどいんだよ。で、答を出したら不安がなくなったりするのが人間じゃない。クリエイティブっていうのは、もうちょっと、もうちょっと考えるってやっていく仕事で。だからきつい仕事なんだよ。そこまで考えたかっていうところで大きな金が動く。

で、この案は、上っ面で止まってるんだよ。こうやったら解決するんじゃないかっていうところまでやってくれないと。ある種、ゲームだから。クリエイティブっていうのは。

どこまで考えるかっていうチキンレースみたいなものだから。どこで止めるかっていう。これはね、チキンだよ。ちょっと走ってもう無理ですっていう。もうちょっとやってよ。

## いじめ防止ポスター ストラテジー

ターゲット:

いじめている自覚はなく、いじってまわりを楽しませようとしている男子中高生。

インサイト:

モテたい。(だから、まわりから注目されたい)

獲得したいゴール:

人をいじっていると、「なにがなんでもモテたい」ってコトをまわりに知らせちゃうことになるんだ。それって必死感が漂ってダサいし、なによりモテなさそうだ。

プロポジション:

「人をいじる」ことは、「なにがなんでもモテたい」ということを、周りにアピールしているようなものです。



### 「いじる事がモテたいから」というところが全くつながらない。

じゃあ次のチーム。えっとね、考えすぎじゃない？あ、まずね、いじるのがモテたいからいじるっていうのが全然つながらない。意味がさっぱり分からない。で、ストラテジーが、なんかその、こうでこうだからこう、だからこう・・・みたいね。風が吹くと桶屋が儲かるんだよ、って言われて、なんで？って。そういうことになっている気がするんだよね。

### 変化球すぎる。散らかったまま全部表現している。

で、もっと簡単で、もっとシンプルなことなんじゃないかなって思うんだよね。ちょっと変化球すぎて。まあ、ターゲットのことを考えるとね、もっと直球でいいんじゃないのって思う。まあ一生懸命考えたんだと思うんだよね。でも、なんかスーパーウルトラ変化球っていうのを開発しようと思ってどっか投げちゃって、どっかいつちゃったみたい、そんな感じかな。あ、考えるのにね、散らかすのはいいのよ。僕は、あのマインドマップってあるでしょ。まあ、マインドマップそのものではないんだけど、白い紙に思いついたことを書いていくわけ。とにかく、散らかしていくんだけど、散らかしていく中で一番大事なものがこれじゃないかなって見つかるっていうかね。ただ、散らかしっぱなしでそれを共有するっていうのは、それはだめで。なんかこれ、散らかっている感じがするんだよね。いじる、モテる、っていうのを全部表現したらこうなりましたみたいな。散らかしたものを最後に、シンプルに表現するっていう。そんなイメージで考えたほうがいいかなと。じゃあ次のチーム。

ピロリ、花火、付き人、ホヘ〜

ターゲット

いじめっ子

インサイト

自分がやっていることは、  
ニュースになるようなイジメほど、  
ひどいことではないと思っている。

プロポジション

どんなひどいイジメも、  
ささいなことから始まっている。



### 何を始めたのかが伝わらない。何をやめさせたいのか伝わらない。

僕は、すごく違和感を覚えたのはね。なんでこのストラテジーでこの表現案になるのかっていうのが理解できなかった。だってさ、あの、些細なこと始まっているって書いてあるじゃん。っていうことはさ、些細なことをやめさせようっていうことだよ。さっき、説明するときさ、たとえば消しゴムを投げるから始まるって言ったじゃない。じゃあさ、とにかく消しゴム投げをやめさせようっていうことだったらわかるわけよ。割とさ、いじめってそういうところから始まっていると思うんだよね。ニューヨークでさ、地下鉄の落書きをとにかく消したら犯罪が減ったっていうのがあるじゃない。割れた窓理論。強盗とか人殺しとか重犯罪を取り締まってきたんだけど、逆に軽犯罪を取り締まろうっていうことに決めて。落書きはその日のうちに、夜のうちに消すみたいなことをやったら、重犯罪も減ったっていう。だから、いじめをなくすには消しゴムを投げさせないってやったら、いじめなくなるかもしれないよね、もしかしたら。でもね、描いているものはさ、もういじめじゃん。ねえ? 些細なこと始まっているって言っているのに、ひどいじめを描いているじゃない。でなんか、つながらないなあって。

言っていることとやることが違う気がする。まあ、女房はやっぱ、殺したくて、みたいなそういうワードがきてるとどきとするんじゃないかって言っていたけれど、僕は結局何をやめろって言ってるのかわからないなって思った。はじめたわけじゃなかったって、何を始めたの? っていう。スマホをやめろって言ってるの? とかさ。LINE やめろって言ってるの? とか。そういう風に思うんじゃないかな。

### ストラテジーを考えている中で散らかったものの中から一ついいものを選ぶ。

あの、さっき僕散らかしたなかで、何が大事かわかっているのっていう話をしたけど、ストラテジーを一所



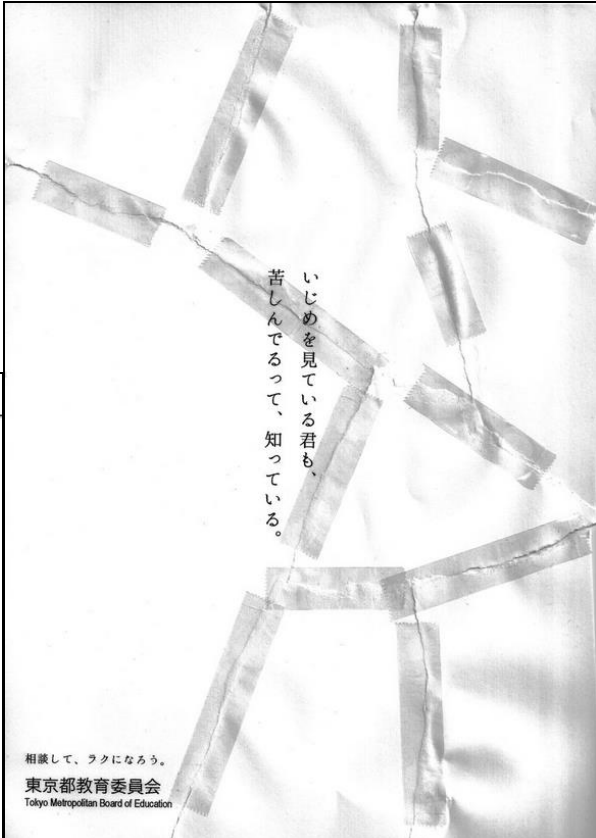
懸命考えていると散らかるわけよね。あっちいたりこっちいたり。でもその散らかる中で、これじゃないかなっていうのがひとつあると思うんだよね。これいいんじゃないかなあって。それをどう表現するかを考えればいいだけで。自分の理屈にとらわれちゃうっていうか、どう表現するか、ってなっちゃったり。あ、これを表現しようって決めなきゃ。

**世界の野糞**：ちなみにこれを選ぶって決めたら他を全部捨てるっていう気持ちで選ぶんですか。

**小霜**：うん。

まあたとえば、あの、今 PSVita やっているんだけど、年末商戦の売り上げが前年に比べて2倍以上だったのね、今も売れ続けているんだよね。もう Vita も死ぬんじゃないかって言われてたんだけど生き返ってきているっていう。最初のプレゼンの時はどうしようかと思ってたんだけど、プランナーたちがアイデアを出す中でなんだか共闘という言葉が引っかかったんだよね。

こういうアイデアの切れ端みたいな感じでさ、共闘先生っていうなんか禿げたおっさんがいるっていうのが気になるなあって。なんかあるなあって。高校生とか中学生ターゲットだったらそれくらいのほうがわかりやすいなあって。いろんな、どんなゲームがきても、まあシリーズ展開できるよなあとか。ここがいけると思ったらシンプルに勝負する。これとこれとこれを組み合わせさせてさあできましたなんてやってたら、それはよくわからないもの。じゃあ最後のチーム。

東京都教育委員会 / いじめ防止ポスター戦略 ネチ・ネチ郎、未滿、シカシカ、食い丸、垢ブリ	 <p data-bbox="1071 1239 1136 1512">いじめを見ている君も、 苦しんでるって、知っている。</p> <p data-bbox="836 1722 982 1743">相談して、ラクになろう。</p> <p data-bbox="836 1753 982 1785">東京都教育委員会 Tokyo Metropolitan Board of Education</p>
<p><b>ターゲット</b> 仲間はずれを恐れ、いじめに同調してしまっている生徒</p>	
<p><b>インサイト</b> 過剰ないじりで苦しんでいる友達を見て感じる罪悪感が嫌だ。</p>	
<p><b>プロポジション</b> 無理にいじめに同調して苦しむのは、もうやめませんか？</p>	

うーん・・・僕の女房はこれが一番いいって言っているんだよね。僕が気になったのは、相談して楽になろうって書いているんだけど、誰に？

垢ブリ：この、教育委員会の人を受け皿になって相談を受けるイメージです。

小霜：教育委員会なんだ。先生じゃダメなの？

垢ブリ：先生とか親も考えたんですけど一応ここが主体になっていたの。言われてみれば…

小霜：だったらね、メールアドレスがいるんじゃないか？

垢ブリ：そうですね…電話番号とかメールとか…

小霜：連絡先を載せるべき。ビジュアルが複雑では。

あと、匿名でもいいよとかさ。その、言う子を守ってあげることだよ。これはとにかく通報してくれってことじゃない。電話くれっていう話だから、誰に連絡するのか、どうやって連絡できるのかまで書かないと機能しない。あと、その子が連絡しやすいような何か、一文があると思うんだよね。名前を言う必要はありませんとかさ。あともう一個気になったのは、ビジュアルがこれでいいのかなって。あの、いや、大人だったらね。その、紙が破れているっていうのを見て、心がずたずたになっているんだなとか連想したりするけれど、子供ってそのまま受け止めるっていうか、なんでこれ破けてるのかなとか、誰か破ったのかなとかさあ。だからもっとシンプルなほうがいいんじゃないかなあ。この絵から何かを感じ取ってくれて言うのが無理なんじゃないかなっていうかさ。単純にね、誰かが誰かをいじめているっていうよく見る風景、まあこういう風景がぱつと載っているくらいのほうが話は早いんじゃないかな。朝日広告賞だったらまあ、賞とれないと思うんだよ。でも、朝日広告賞をとるとターゲットに向けるのは違うことだからね。

垢ブリ：そういうものだと目をそむけなくなったりっていうのと、ほかのものと同化してしまうこととかも考えたりしたんですけど…

小霜：そうだよ。でも、こっちのほうが同化しないか？どっちかっていうと。なんだか、雰囲気っていう感じのほうがうずもれるんじゃないかっていう気もするけどなあ。もっと、話が早いほうがいいんじゃないかな。僕はそう思う。

ということで、もう一回考えてきて。で、えっと、次回はうちの娘、あるいは息子、そのどっちかに審査させて、彼らがこれが効きそうだって選んだものを一等賞にしよう。

やっぱりね、どこかで表現がよれるんだよね。よれるってどういうことかと言うと、なんか、審査員に受ける感じをこう、入れようとするっていうか。表現としてこれじゃ面白くないんじゃないかとか、言葉も、

コピーっぽくないんじゃないかとかさあ、思っちゃうんだよね。だから大人を意識するわけだよね。子供に向けるポスターって言うにもかかわらず、大人に向けようとしちゃうんだよね。だから、中3女子をターゲットにしよう。中学生に見せて、ああこれわかる、これ効きそう、っていうのを考えることにしよう。なにか質問はある？

垢ブリ：息子さんと娘さんはスマホを持っていますか？

小霜：もう、使いこなしてる。

世界の野糞：息子さんは中1・・・？

小霜：中1、今年中2。娘は今年高1。

ピロリ：2案になってしまっても、いいんですか？どうしてもこれもよいんではないかっていうのは…

小霜：基本1案にしてほしいんだけど、どうしてもっていうのがあれば、2案までは許そうかなと思う。

小霜：ストラテジーの型にとらわれない事。クリエイティブはアイデア。

あの、いや、ストラテジーこういうふうには書いて言っているけど、これは大きな落とし穴で、整理すればできてしまうと思っちゃう。それは大間違いなんだよね。形にすればいいっていうのは事務職の思想なんだよね。クリエイティブっていうのはやっぱりアイデアだからね。さっき、消しゴムのカス投げるのやめさせたらいじめはなくなるっていうのはアイデアじゃん。広告は仮説だからさ。ニューヨークのやつと同じようになるかもしれないじゃん。でも今回のストラテジーのなかにアイデアが全然感じられない。ただ整理して言葉にしているだけにすぎない。ああこれは発見だな、とかそういうものがない。割かし教育委員会の人たちが集まって考えたとしてもこういうのなら出てくる気がする。だから都知事選の話でさ、まずい定食屋の話をしたけれど、まずい定食屋な感じがするよこれも。これ食ってみたいっていうのがないよね。

快気祝いだね、いろんな人から電話がかかってくるんだけどさ、フグとカニどっちがいいですかって電話がかかってきて。フグは麻布十番のどこそで、カニは目の前で生きたカニをさばいてしゃぶしゃぶにするんですよって聞いて、どっちもいいなあ、どっちかなあ、っていう。今並んでるのはまずい定食屋に入っちゃった感じ。まあ付き人はくっついて毎日食ってるんだけどね。いただきますも言わないんだぞ。

付き人：言うようにしてるじゃないですか…

小霜：立ってあいさつしろって怒られてたじゃないか。

付き人：あいさつします。

小霜：どうでもいいけどね。どうでもよすぎるな。

教育委員会にいろいろお役人がいるけどさ、役人に失敗なっという。やったことが評価になる。成果は関係なくて。でもそういう人たちのなかにも気持ちのある人はいるはずで。その人たちの目線で見ると、どういふことをやったっていじめが減らない中で、これはやったことないぞっという、やると効果があるかもしれないっというものをさ。それがアイデアだと思うんだよね。アイデアを出してほしい。

ストラテジーっというのは設計図みたいなものだけど、設計図を書けばいい家が建つわけではないんだよね。理想があって、それをかなえるために設計図を書くんだったよね。理想がなくて設計図書けばいいっというのは大間違いなんだよね。うちは、この家は土地が南に向かって開けているから、抜けがいいから、3階にリビングを置こうと考えたわけ。そういうのをなくすればふつうにリビングが1階で寝室が上にあたりするわけで。君たちはそれに近いことをしようとしてる。家は家だよ。でもどこに理想があるんだっという。

最初に都知事選の仮説を聞いたのも、どんなオリジナルな意見を持っているかを知りたかったんだけど、どれもネットで散々言われていることだと思うんだよね。自分たちが投票しようとしたときに自分らしい意見や視点を持ってるかっ期待したんだけどね、ないなあ。あんまり話さないよっっていったけれど僕は細川さんに入れるつもり。なんでかっというとな相馬市の市長さんが応援演説をしていて。細川首相の奥さんがガソリンを南相馬にボランティアで持ってきてくれたと。大変なときに助けてくれたのが細川首相だと。この人は細川さんが人の命を助けた経験があるからと応援して。もともと僕は細川氏には疑問を持っていて、都知事に脱原発の権限はないからね。実は少子化が一番進んでいるのは東京で。爺さん婆さんは楽なんだよね、東京のほうが。コンビニもすぐ近くにあるし。そういったことをちゃんと政策で解決しようと言っているのは舛添さんだけなんだよ。でも僕はある種の東北支援として細川さんに1票入れてもいいと思ったわけ。この市長さんに俺の票をあげるよっという。そういうことで投票してもいいんじゃないかと。僕が言っているのはクリエイティブではないけれどアイデア。こう考えればすっきりするなっという。クリエイティブをやっている、目指しているのなら、自分なりのアイデアを出してほしいと思います。

——講義終了——